

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		学校・家庭・地域の連携のもと『社会に役立つ人材の育成』に取り組む学校 ～知・徳・体の調和がとれた教育実践をとおして～
(2)	育みたい 児童生徒像	○自分自身を見つめ直し、夢に向かって、何事にも精一杯挑戦する意欲的な生徒。 ○基本的な生活習慣を身につけ、社会のルールやマナーを守り、命の大切さや他人を思いやる心を持ち、いじめ防止に取り組める生徒。 ○部活動や生徒会活動、学校行事などに積極的に参加し、コミュニケーション能力を高めることができる生徒。
	ありたい 教職員像	○目指す学校像の実現のために、一人ひとりの生徒の適性、能力に応じた学習指導や生徒指導にカウンセリングマインドに基づき、粘り強く指導できる教職員。 ○風通しの良い学校風土と、教職員相互の対話により、学校や生徒の課題を共有し、一致団結して課題解決を図るとともにコンプライアンスの徹底に取り組む教職員。 ○自らの教育力の向上のために、ベンチマーキングや研修会等に参加し、教育活動により意欲的に取り組むことができる教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p><生徒> 安心で快適な学習環境の中で、基礎学力の定着と希望進路の実現。 学校行事や部活動の充実。</p> <p><保護者> わかりやすい授業による学力の向上と希望進路の実現。自己教育力と規範意識の醸成。部活動の活性化。</p> <p><地域社会> 生徒の公共心やマナーが育成され学校への信頼度が高まる。 地域活動へ積極的に取り組める生徒の育成</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p><保護者> 生徒や学校の適切な情報提供。 <中学校> 類型や体育科での専門的な学習の理解。 卒業生や学校の情報提供。 <地域社会> 開かれた学校。地域活動への参加と協力。 地域に貢献できる人材の育成。</p>	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p><保護者> 本校教育活動への理解と参画。親と子のコミュニケーション。 <中学校> 効果的な指導のための情報共有と緊密な連携。 <地域社会> 本校教育活動への理解と協力（工業・介護実習、清掃活動、部活動）。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ・学校遅刻や授業遅刻の割合が増えているので、理由を分析し、家庭とも連携を深めて割合の減少に努めていく必要があるのではないか。 ・地域との連携を進めていく活動において、相手方（小学生や中学生等）へのアンケート調査を行い、満足度を把握することによって、改善につなげていくことができるのではないか。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の基本的な生活習慣や学習習慣を確立するため、家庭と連携を進めていくとともに、授業の改善に努め、組織的に教育活動に取り組んでいく必要がある。 ・人権教育や道徳教育等を充実させることで、人権を尊重する態度を育み、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう取り組んでいく必要がある。 	
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携をした活動においては、学校側も要望や提案を積極的に行い、地域貢献に利するとともに、生徒の自己肯定感を高め、充実した活動となるように取り組んでいく必要がある。 ・総勤務時間縮減の取組をすすめるため、設定され上限時間を超えることのないように、業務内容や業務の分担方法を見直し、効果的、効率的に業務が遂行できるよう創意工夫を凝らしていく。 	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学科や類型などの専門的な学習内容を充実させることで、より意欲的に生徒自らが学ぶ姿勢が身に付くようにする。 ・ 将来を見据えたキャリア教育をはじめとした進路指導の充実により、自己有用感や自己肯定感が高まり、希望進路の実現と定着を図る。 ・ 正しい倫理観や道徳観を身につけ、他者を思いやり、人権を尊重する意欲や態度、いじめを許さない心、命を大切に作る実行力を育成する。 ・ 一人ひとりの生徒の能力・適性に応じた授業内容の工夫や公開授業や授業研究を行う等の授業改善を進める。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の魅力をPRするための広報活動を工夫改善する。 ・ 本校への保護者・地域・中学生の期待度、中学校卒業者数の動静を注視し、教育課程の改編に取り組む。 ・ 教職員が、意欲的に業務に取り組み、やりがい感・満足度を高めるため、会議の効率化・休暇の取得・部活動の効率化・定時退校日の設定などに取り組み、総勤務時間の縮減を図る。 ・ 教職員、保護者、地域と情報や課題の共有化ならびにコンプライアンスマインドの醸成をはかり、信頼される学校づくりに取り組む。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	学ぶことの興味関心が高まる取組 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力診断テストの実施（4月実施） 基礎学力向上トレーニング（1年）、朝読・朝学習・漢字検定（2年）、長期休業中の補講（3年） ・ 授業（3回）類型（2回）生徒満足度調査を実施 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の満足度90%以上 	8月26日実施 朝読週間9月7日～18日 就職希望者対象実施 満足度は年2回実施（1学期は実施できず） 【満足度調査】 満足度90.9%（全科目の平均値）	◎
キャリア教育の充実と進路実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生のインターンシップの実施 ・ 自動車工業類型、介護福祉類型による企業等実習 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加生徒の割合20%以上 ・ 大学、専門学校との連携授業（体育科 3回以上） 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加生徒の満足度90%以上 ・ 企業の満足度75%以上 進路ガイダンス、個別面談の実施 【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2年生は年間3回以上 ・ 3年生は年間5回以上 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 希望進路実現100% 	中止 自動車工業類型 10日間実施 介護福祉類型 実施しない <ガイダンス>1年4回、2年4回、3年6回 <個人面談>3年生就職希望者対象に2週間実施。必要に応じて適宜対応。 ※就職外部講師を招き進路相談会やオンラインを利用した情報発信を行った。 学校斡旋：100% 進学：97%	

<p>体育科の活性化</p>	<p>体育科生徒による、市内小中学生を対象に指導実習・学校行事運営への参画</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校訪問5校以上 ・オープンスクール、体育祭の運営参画 ・体育・スポーツ系大学、専門学校への進学者の増加 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育科生徒の満足度90%以上 ・体育・スポーツ系大学、専門学校への進学者5名以上 	<p>小学校訪問中止、中学校3校 オープンスクール中止</p> <p>体育科生徒満足度 91%</p> <p>1月末大学2名、専門5名</p> <p>体育・スポーツ系進学者7名</p>	
<p>資格取得の促進</p>	<p>・各種検定や資格の取得に向けた取り組み</p> <p>【活動指標】</p> <p>商業、情報関係資格取得、全商検定1級資格取得者の増加</p> <p>JSBA バッジテスト5級（スノーボード）、JFA 公認キッズリーダー</p> <p>普通救命講習修了証</p> <p>漢字検定、英語検定、ニュース検定、食物調理技術検定、介護職員初任者研修課程の修了、ガス溶接技能講習、情報、色彩検定</p> <p>【成果指標】</p> <p>珠算電卓、ビジネス文書、情報処理合格 5名</p> <p>JSBA バッジテスト5級（スノーボード）合格80%以上</p> <p>JFA 公認キッズリーダー（合格100%）</p> <p>普通救命講習修了証（合格100%）</p> <p>漢字検定（3級合格50%）、英語検定（50%）、ニュース検定3級、食物調理技術検定（2級70%・3級4級100%）、介護職員初任者研修課程の修了（90%）、ガス溶接技能講習合格（90%）</p>	<p>【全商情報処理検定情報部門】 1月実施</p> <p>【漢字検定】 第一回 3級 16名 準2級 2名 2級 3名 合格 第二回 2月実施予定</p> <p>【食物調理検定】 食物調理類型 4級：2年生 15名合格 2級：3年生 14名合格 合格率100%</p> <p>【ビジネス文書検定】 1級 1名 2級 3名 3級 31名 合格</p> <p>【簿記実務検定】 2級 7名 3級 12名 合格</p> <p>【情報処理検定】 2級プログラミング部門 4名 合格 2級ビジネス部門 3名 合格</p> <p>【JSBA バッジテスト5級（スノーボード）】 中止</p> <p>【普通救命講習修了証】 合格率100%</p> <p>【JFA 公認キッズリーダー】 合格率100%</p> <p>【介護職員初任者研修課程】 15名 修了</p> <p>【色彩検定】 12名合格 (合格率70%、昨年度55%)</p>	
<p>基本的な生活習慣や規範意識の醸成</p>	<p>全校集会、学年集会での訓話や全教職員による指導の徹底</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員による全校集会指導 ・各学期2回以上の全体指導及び頭髪服装指導の実施 ・いじめ防止の取組（現職教育の実施、ピンクシャツ運動） <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校遅刻、授業遅刻の令和元年度の10%減少 	<p>各学期2回以上実施した</p> <p>6月から毎月実施した。特に11月は三重県の差別をなくす協調月間にあわせて生徒会中心に取り組んだ。2月も強化月間として取り組んだ</p> <p>1月末現在で学校遅刻は昨年度比約11%減、授業遅刻は約1%増加</p> <p>【特別指導件数】</p>	<p>※</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 特別指導件数の昨年度（令和元年度）20%減少 	令和元年度は7件15名の指導、1月末現在では13件28名の指導と人数では1.8倍となった。	
人権意識の育成	<p>人権を尊重する意欲・態度と正しい道徳観の育成</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演及びソーシャルスキルトレーニング（SST）の実施 人権デーの実施 SNS講話、避難訓練防災講話、献血セミナー活動、性教育指導 普通救命救急講習の実施（教職員） 全教職員による命を大切に教育ならびに講演の実施 	<p>人権デー：11月18日 講演会開催 道徳教育（SST）：各学期に1回実施 人権学習LHR：各学期に1回実施 人権講話：各学年単位実施 SNS講話：各学年単位実施 防災講話：9月1日実施 献血セミナー：12月16日 献血：11月18日 教職員対象人権教育研修会各学期に1回実施</p> <p>9月4日講演会（教職員）</p>	
部活動の活性化	<p>運動部、文化部活動の奨励</p> <p>部活動学校運営方針</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県総体総合15位以内 前年比、全国・東海大会出場者、県内大会入賞者増 	<p>インターハイ等中止</p> <p>全国陸上大会：円盤投げ3位 砲丸投げ2位</p>	※

改善課題

- ・地域産業との連携を深め、職業理解を深めながら、基礎学力の向上や学習習慣の定着につなげていく。
- ・基本的な生活習慣、自らの体調管理を身につけさせるため、家庭との連携をさらに密にし、日ごろからきめ細かい指導が必要である。

(2) 学校運営等

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学校の魅力化	<p>体育科の充実と、地域社会に貢献できる人材育成を目指した普通科の特色あるカリキュラム</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関、団体との連携調整 ボランティアや地域活動に参加、協力 		◎
授業力の向上及び資質向上	<p>授業公開による授業改善、校内研修の実施</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業公開、教員相互の授業見学を年間2回実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業満足度80%以上（再掲） 	<p>コロナの影響で1学期は授業公開なし。11月の人権デーの週に授業公開と教員相互の授業見学を実施。60%の教員が参加。</p> <p>満足度90.9%</p>	※

<p>情報発信による地域、保護者との連携促進</p>	<p>学校ホームページやSNS、きずなネットの活用による情報発信、地域活動との連携</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内外の活動を随時、迅速に発信 ・ボランティアや地域活動に参加、協力（再掲） <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新 随時 	<p>Web ページのリニューアル（情報量の充実）をし、毎月数回以上の更新をした。</p> <p>Twitter を新設し、情報発信を行った。</p>	
<p>総勤務時間の縮減</p>	<p>※（ ）内数は令和元年度</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の定時退校日、定時退校できた職員 90% (87.2%) ・週1日の部活動休業日を設定、予定どおり休養日の設定ができた部活動 90% ・週1回の個人定時退校日の設定 70% ・各種会議時間を60分以内に短縮 85% (67%) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人当たりの月平均時間外労働時間 30時間以下の範囲内 94% ・月45時間を超える時間外労働者の延べ人数 0人 36人 ・年360時間を超える時間外労働者の人数 0人 4人 ・1人当たりの年間休暇取得日数（昨年度比2日増） 24日 	<p>90%</p> <p>100%</p> <p>86%</p> <p>75%</p> <p>49人 94%</p> <p>36人</p> <p>4人</p> <p>24日</p>	<p>※</p>
<p>経費の効率的な活用</p>	<p>学校運営費の節減取組</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居室退室時のチェック徹底 ・経費節減について企画委員会等で意見交換 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力、水道使用量平成30年度比3%削減比 <p>参考：令和元年度、体育館釣り天井工事のため電力使用量が前年度比14%削減であった。</p>	<p>実施</p> <p>電力使用量 19.6%減</p> <p>水道使用量 1.9%減</p> <p>（1月末現在）</p>	
<p>改善課題</p>			
<p>・教職員の総勤務時間縮減に向けての取組は見受けられるが、さらなる意識改革を深めながら業務の見直しを進める必要がある。</p>			

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・稲生高校への入学希望者を増やしていくためには、TwitterなどのSNSを効果的に使って、在校生の学習や日常の学校生活等の様子を中学生に見えるように発信することが大切である。 ・稲生高校の魅力を発信するためには、例えば、1人1台配付されるPCやタブレット等を活用して、オンラインを利用した体験授業や小・中学生と交流する機会を増やすことを計画するとよい。
----------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の基本的な生活習慣を確立するため、情報共有を図り、組織的に生徒指導に取り組んでいく。 ・人権教育や道徳教育等を充実させることにより、人権を尊重し、相手を思いやる心を持った生徒を育成していく。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会を充実させ、校外研修会への参加を奨励することで、教職員の資質向上を図る。 ・異校種や地元の関係機関との連携を更に推進し、広報活動を積極的に行い、地域から信頼される学校を目指す。 ・教職員同士の情報共有を更に図り、業務内容やその分担方法を見直していくことにより、働き方を改善していく。